



令和4年12月20日

学校だより

射水市立作道小学校

212号

2学期を振り返って

2学期も残りわずかとなりました。2学期は、学習発表会や校外学習、ランニング記録会、感謝の集い等がありました。また、1年で1番長い学期で学習する内容も多く、充実した学期になったのではないかと思います。それぞれの場面で、子供たちは目標をもって、合言葉の「自分からチャレンジ」をして頑張ってきました。生活面でも相手の気持ちを考えて行動したり、地域の方に感謝の気持ちをもったり、自分の仕事や役割に責任をもって取り組んだりするなど、心の成長が見られる場面もたくさんありました。この頑張りや成長を来年にしっかりとつなげていきたいと思えます。

さて、年末年始は、子供たちが日本の伝統文化に親しんだり、家族の一員として活躍したりするよい機会です。冬休みはいつも以上に「あったか家族の日（一緒に食事・おしゃべり・お手伝い）」が増えればと思います。そして、家族でSDGsにも取り組んでみてください。皆様、よいお年をお迎えください。



感謝の集い 11月24日

子供たちへの日頃のご支援に対して、地域の皆様に感謝の気持ちを伝えるための集会を開きました。当日は大勢の方々がご来校してくださり、子供たちの発表を楽しそうに見たり、一緒に「ふるさと」を歌ったりしてくださいました。

本校の子供たちは地域の皆様のお陰で、元気に健やかに成長しています。本当にありがとうございます。そして、これからもよろしくお願ひいたします。



<4年 移動下水道教室> 11月22日

富山下水道公社の方をお招きして、移動下水道教室を行いました。下水道の仕組みや、下水をきれいにする微生物の働き等について教えていただきました。下水の流れる速さや、「どうしてマンホールが丸いのか」など、知らないことをたくさん教えていただき、子供たちは興味深く話を聞いていました。自分たちの生活を振り返り、社会科の学習と関連付けて考えを深めることができました。





2学期の心に残った活動・頑張った活動

<1年 生活科「あきのあそびランド」>

子供たちは、見付けた木の実や落ち葉を使った遊びを考え、お店を開きました。まつぼっくりのけん玉やどんぐりごま等、何度も試しながら工夫して作ったり遊び方を考えたりしました。自分が楽しむだけでなく、友達にも楽しんでもらいたいと活動する姿に、成長を感じました。



<2年 生活科「作道すてきはっ見」>

校区の「すてき」探しに取り組み、学校からみんなで見に行ったり、家の人と一緒に写真を撮影したりしました。植物や生き物、店、施設、場所、名人等、たくさんのすてきを見付けることができました。

この活動を通して、子供たちは、作道はすてきがいっぱいだと感じたようです。



<3年 ゴムカー（理科）>

子供たちは、ゴムの伸びとゴムカーの走る距離を計測し、そのデータをもとに狙ったところで止める学習をしました。中には「正確にデータをとることをがんばりました。」と2学期の振り返りに書く子もいました。理科を楽しみながら、科学的に学習を進めている姿がたくさん見られるようになりました。



<4年 ものの体積と温度（理科）>

4年生は理科で、ものの体積と温度との関係について学習しました。金属や空気、水を温めたり冷やしたりする実験を通して、ものの体積は温めると大きくなり、冷やすと小さくなるということに気付くことができました。噴水現象がなぜ起こるかを考える場面では、グループで協力したくさんのことを発見する姿が見られました。



<5年 車椅子・高齢者体験>

総合的な学習の時間では、「様々な立場から考えよう」という学習活動の中で、車椅子・高齢者体験をしました。体験を通して、「車椅子で生活する方の苦勞を知った」「困っている人を見かけたら助けたい」など、様々な立場の人の気持ちを考え、自分の生き方を見つめ直すことができました。



<6年 プログラミング（理科）>

理科の学習では、「便利さと節電」の両立を目指して、プログラミング回路を組み立てました。組み立てた回路は実際に来校者用玄関に設置し、使用してもらいました。

この学習を通して、理科で学習したことが日常生活の中に生かされていることを実感することができました。

